

(資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会)

原子力等エネルギー・資源、持続可能社会に関する調査報告(中間報告) 要旨

本調査会は、原子力等エネルギー・資源、持続可能社会に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、令和四年十月三日に設置され、三年間の調査テーマを「資源エネルギーの安定供給確保と持続可能社会の調和」とした。

二年目においては「資源エネルギーの安定供給確保と持続可能社会の調和に向けた論点整理」を調査項目として取り上げ、「エネルギー安全保障の確立に向けた論点」、「脱炭素社会の実現に向けた論点」及び「資源エネルギー分野のイノベーション」について、参考人から意見を聴取し質疑を行った。続いて、政府から説明を聴取し質疑を行うとともに、委員間の意見交換を行った後、これらを調査報告書(中間報告)として取りまとめ、令和六年六月五日、議長に提出した。

本報告書においては、これまでの調査の概要をまとめるとともに、主な議論を「エネルギー安全保障」、「エネルギー政策」、「再生可能エネルギー」、「イノベーション」、「原子力政策」、「脱炭素社会」及び「人材育成」という七つの主要論点に着目して整理している。